

資料提供	
令和7年12月1日	
担 当	鳥取県立鳥取東高等学校 矢部 敦子
校長名	原田 晋一
電 話	0 8 5 7 - 2 2 - 8 4 9 5
F A X	0 8 5 7 - 2 2 - 8 4 9 7

令和7年度鳥取東高等学校科学の広場（出前授業）

鳥取県高等学校理数教育重点校の取り組みの一環として、理科に関する観察や実験などを通じて小中学校等の児童・生徒の理科への興味・関心を高めるとともに、地域の理科教育の活性化を図ることを目的としています。

事業の概要は、本校教員並びに生徒が小・中学校等を訪問し、理科に関する観察、実験、演習及び講義を行い、合わせて本校理数科の説明等も行うものです。10月から12月までの期間に9回予定しており、今回は最終回となります。

この取り組みを今後さらに発展させるため、地域の方々に知っていただきたく、報道資料としてご提供いたします。

1 日 時 令和7年12月10日（水） 午前9：30～11：20

2 場 所 河原第一小学校

3 出席者 鳥取東高校 教員3名 生徒5～6名
河原第一小学校 3，4，5年生

4 内 容 【3年生】

砂粒を推測する：河川、砂浜などに見られる砂は、岩石が細くなったもので、その見た目は様々です。様々な場所の砂でプレパラートを作り、観察し、周囲に分布する岩石を推理します。

【4年生】

骨格の観察：骨や筋肉の作りは生物によって様々です。ニワトリの手羽先を使って骨格を組み立て、その構造や筋肉を動かす仕組みを考えます。

【5年生】

種の不思議：植物にとって命をつなぐための種には不思議がいっぱい。くっつく種、転がる種、風に乗って飛ぶ種、回転しながら落ちる種、いろいろな散布の仕方もある。種の模型を作って、種子の不思議と植物の生き方を考えます。